

共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra

70th Anniversary 京響

2027

1.9土

午後2:30開演(午後1:30開場)
Sat, January 9, 2027 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall (Main Hall)

京都コンサートホール・大ホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

The Special Concert of the
City of Kyoto Symphony Orchestra

"New Year Concert"

特別演奏会

ニューイヤークンサート

京都市交響楽団

入場料

2026 10.3から発売 S 6,000円 A 5,500円 B 4,500円
C 3,500円 P 3,000円(舞台後方席)

U30 前売 [一般発売に併せて販売]

S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。
※オンラインチケット <https://www.s2-e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 [当日残席がある場合のみ発売]

S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円 C 1,000円 P 1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際に年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

チケットご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2-e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 308-606
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 57873

- ◆ 1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2026年12月28日までに京響075-222-0347へお申込みください)
- ◆ 10枚以上のチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。
- ◆ 障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

お問い合わせ



京都市交響楽団 075-222-0347
◀<https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール 075-711-3231
<https://www.kyotoconcerthall.org/>

新年は沖澤 × 京響で幕開けを！
ユッセン兄弟も登場し、動物にまつわるプログラムをお贈りします



指揮

沖澤 のどか (常任指揮者)
Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

©Felix Broede

ピアノ

ルーカス&アルトゥール・ユッセン
Pianos: Lucas & Arthur Jussen

©Jesaja Hizkia

ヨハン・シュトラウスⅡ世: 喜歌劇「こうもり」序曲
Johann Strauss II: "Die Fledermaus", operetta - Overture

サン・サーンス: 組曲「動物の謝肉祭」★
Saint-Saëns: Le Carnaval des animaux, suite★

コープランド: バレエ組曲「ロデオ」
Copland: Rodeo, ballet suite

ストラヴィンスキー:
若い象のためのサーカス・ポルカ
Stravinsky: Circus Polka, composed for a young elephant

ブラッドリー (M. バリー編): トムとジェリー at MGM
Bradley (M. Barry): Tom and Jerry at MGM



©京都市交響楽団

主催: 京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

協賛: ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ、スターツグループ

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

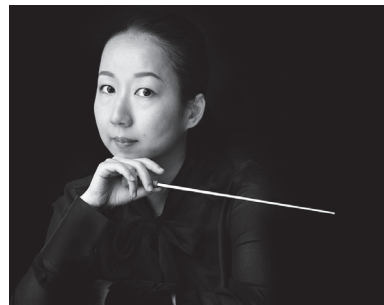
2027年は喜歌劇「こうもり」序曲から華やかに！組曲「動物の謝肉祭」では、1月の定期演奏会にも登場するピアニスト、ユッセン兄弟を迎えます。ほかにも動物をテーマにした遊び心あふれるプログラムがならび、楽しい新年の幕開けになること間違いなし！ぜひ足をお運びください！

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra "New Year Concert"

指揮 沖澤 のどか (常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝。第28回(2020年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン交響楽団2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。故郷の青森で開催される「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響へデビュー、エストレマドゥーラ響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオーケランド・フィルにも登場。また、最近の特筆すべきデビューとして、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、N響、バーゼル室内管、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管での成功が挙げられる。日本でも訖響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール『メリー・ウィドー』、2025年2月にはビゼー『カルメン』を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broede

ピアノ ルーカス&アルトゥール・ユッセン

Pianos: Lucas & Arthur Jussen

ルーカス(1993年生まれ)とアルトゥール(1996年生まれ)のユッセン兄弟は、今最も注目を集めるピアノデュオの一つ。これまでに、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ブダペスト祝祭管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、アカデミー室内管等の世界有数のオーケストラ、クリストフ・エッセンバッハ、イヴァン・フィッシャー、サー・ネヴィル・マリナー、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼ＝セガン、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン等の著名な指揮者と共演を重ねている。2025/26シーズンは、hr交響楽団(フランクフルト放送響)のアーティスト・イン・レジデンスを務めるほか、ベルリン・フィルへ待望のデビューを果たし、パーミングム市響、ラハティ響、フランス国立管等に登場。さらにミュンヘン・フィル、ウィーン響、アカデミー室内管とのツアー、米国ではピッツバーグ響へのデビューやカンザスシティ等でのリサイタルのほか、ボストン響と新作を世界初演。また、トンヨン国際音楽祭で韓国デビューに続き、台湾フィルと共演。ヨーロッパでも各地でのリサイタル、ルール・ピアノ・フェスティバル、プラハの春音楽祭等に登場。録音では2010年からドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、最新盤のオランダ人作曲家作品集『ダッチ・マスターズ』はエディソン・クラシック賞と聴衆賞を受賞した。故郷ヒルフェルスム(オランダ)で初めてピアノのレッスンを受けたユッセン兄弟は、幼少期にはオランダのベアトリクス女王の御前で演奏を披露し、その後数々のコンクールで受賞。2005年にポルトガルの名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスと出会い、数年間にわたりピリス及びオランダの名教師陣のもとで研鑽を積んだ。ルーカスは米国でメナヘム・プレスラー、マドリッドでドミトリー・パシキエロフに師事。アルトゥールはアムステルダム音楽院を卒業し、ヤン・ヴァンに師事した。



©Jesaja Hixia

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ローマシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上写真事務所 井上恵和

次回予告
第718回
定期演奏会

2026.10/9
から発売!



沖澤のどか



ルーカス&アルトゥール・ユッセン

「火の鳥」全曲を沖澤のタクトで
実力派で華やかなパフォーマンスで話題の
ユッセン兄弟にも注目!

会場: 京都コンサートホール・大ホール 指揮: 沖澤 のどか(常任指揮者) 独奏: ルーカス&アルトゥール・ユッセン(ピアノ)*

入場料 全6,000円 全5,500円 全4,500円 全3,500円 全3,000円(舞台後方席)

U30(前席) 全2,500円 全2,000円 全1,500円 全曜ペアチケット(1/15公演) 全10,000円 全9,000円 全8,000円

曲目 プーランク: 2台のピアノのための協奏曲*

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「火の鳥」(1910年全曲版)

2027. 1.15 金 午後7:00 開演
1.16 土 午後2:30 開演